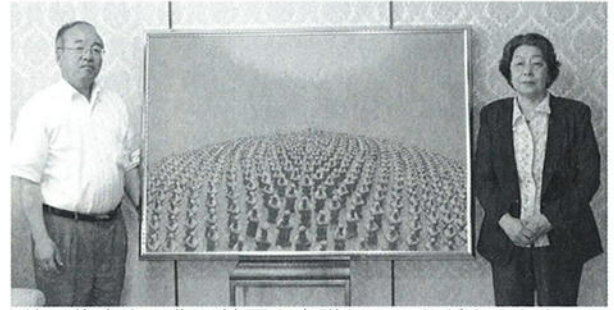


五輪塚を描いた絵を寄贈



嶋田俊夫さん作の絵画を寄贈していただきました

6月16日(金)、米子市在住の嶋田裕子さんが、ご主人の嶋田俊夫さん制作の絵画「五輪塚」を大山町に寄贈されました。嶋田俊夫さんは名和中学校の美術教師として6年間勤務されていたことがあり、その縁で、名和公一族郎党の墓をモチーフにこの作品を制作されました。五輪塚を照らす光が印象的な、描き手の深い心情が感じられる60号の大作です。

現在、役場本庁舎2階の産業振興課前の壁に飾っています。

伝統ずもう ハッケヨイ!



力いっぱい取り組みをする児童たち

名和小学校西校舎で6月7日(水)、1年生から6年生まで、男女問わず全校児童が取り組む「校内すもう大会」が開かれました。

今年度名和地区の3小学校は統合し、来年度から新校舎(名和小跡)に通う予定。現在、旧庄内小を西校舎、旧光徳小を東校舎として、児童は分かれて通っています。

このすもう大会は旧庄内小学校で、昭和43年から続いている伝統行事です。卒業生数も、名和国体選手として活躍するなど、庄内地区は以前から相撲が強かったこともあり、子どもたちにも伝統を引き継ごうと始められたものです。

今年も校内のお年寄りの方々を招待してにぎやかに行われました。

大きなサツマイモにな~れ!

園児がサツマイモ苗植え



おいしいサツマイモになるかな

町内各保育所では、保護者と共に食育活動に取り組んでいます。その一環として光徳保育所では5月24日(水)、3歳児以上の園児37人が約300本の苗植えに挑戦しました。本来は前日に親子で体験する予定でしたが、天候が悪く、この日、園児のみでの苗植えとなりました。

秋には保護者と共に収穫、調理し、試食する予定。角田美恵子所長は「苗を植えた後も、草取りや水やりなど、園児が管理をします。食べるものを作ることの楽しみと、苦労を学んでほしい。」と話していました。

交通ルールを守って安全に通学しよう



自転車に乗るときのルールを学びました

名和中学校で交通安全講習

交通ルールを正しく理解し、生徒たちが安全に自転車での通行や歩行ができるよう、5月26日(金)名和中学校で交通安全講習が行われました。

全校生徒を対象に交通安全のビデオを上映し、八橋警察署の金澤交通係長の指導で自転車を使った実技を行いました。

生徒たちは、交通ルールを守ることの大切さと、交通事故の恐ろしさをあらためて認識していました。